校訓　自主　協和　研学

教育目標

自己有用感
自らの特性や適性を知り
自己肯定感・自己有用感を持つ。

コミュニケーション力
他者との円滑な人間関係を
築くことができる。

社会人としてしっかりと生きていく力を育む。

基礎学力
健康な体を持ち、基礎学力と教養を身に付けている。

スクールミッション

ユニバーサルデザインの視点による授業を推進し、生徒一人一人の個性を伸長するとともに、外部機関や地域との連携を生かしたキャリア教育により、自己の在り方・生き方を考察させながら、自己肯定感と自己有用感を高め、夢や希望を持ち、社会的・職業的に自立した人財を育成する。

実現のために

令和７年度学校経営方針

＜学び続ける教職員集団として、共に成長する組織＞

～ 定時制、通信制、事務部の効果的な連携による教育活動の充実 ～

定時制の課程

単位制・定時制の特色を生かしたきめ細かな教育活動の展開

各部、年次、分掌が連携し、共通理解を図りながら、組織として一丸となって教育活動に取り組む。

個々の生徒の可能性を引き出し、伸ばすキャリア教育

生徒一人一人の特性を理解し、個々の持つ長所や能力を生かし可能性を引き出すキャリア教育に、あらゆる教育活動を通じて取り組む。

特別な支援を要する生徒に対する指導・支援の充実 ＜北斗スタンダード＞

ユニバーサルデザインの視点を持った授業づくり、教育相談、通級による指導など、生徒一人一人に対応した指導・支援に組織的、継続的に取り組む。

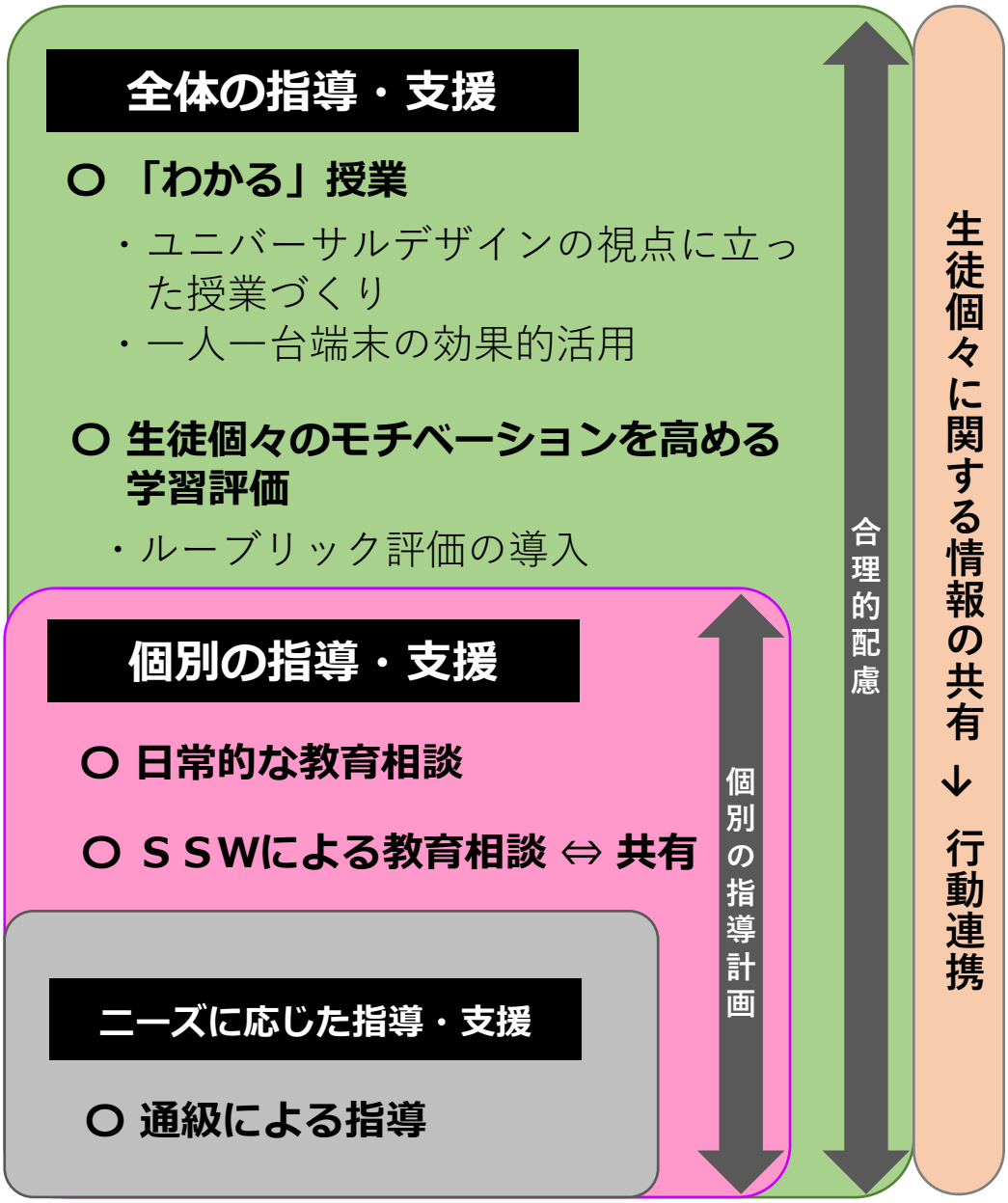
地域とともにある学校づくり（Ｒ７年度からＣＳ学校運営協議会開始）

家庭や学校関係者、地域への情報発信、学校公開、学校評価等の充実、地域との連携・協働により、地域とともにある学校づくりに取り組む。

各部・年次・分掌の目標 ― **自己目標** ― **日常的な見直しと改善**

R７　北斗スタンダード

特別な支援を要する生徒に対する指導・支援の体系



▶　教育支援部を中心に各分掌、各年次、各部と連携しながら、「全体の指導・支援」、「個別の指導・支援」、「ニーズに応じた指導・支援」に係る具体的な取組の推進

▶　進路部、担任、SSW、外部資源の連携を強化し、生徒の適性を生かした進路選択へ

▶　「校内外研修での学び」と「日常の積極的な実践の繰り返し」による指導力アップ